

北海道内の居住地域にかかわらない、道内各地域に存在する冬季競技の年代別トップアスリート・高い競技能力をもつアスリートに対してスポーツ医・科学支援をするための道内機関・施設・人材の共同体であり、その体制構築のための組織



～ H-SMSC NEWSLETTER 2023.10月30日 配信 ～

1) 北海道スポーツ医・科学コンソーシアムスタート記念シンポジウムが開催されました。

9月5日京王プラザホテル札幌で開催され、当日はコンソーシアムの中核4団体の北海道庁・札幌市・札幌医科大学・スポーツ協会から鈴木知事・石川副市長・山下理事長・荒川会長が参加しました。片寄運営委員会委員長より将来的にはスポーツ医科学のサポートで培われた知見を一般市民のライフパフォーマンスへ応用していく話や清水宏保氏と渡邊耕太先生(専門委員)対談などが開催されました。当日参加いただいた専門委員の皆様もお疲れ様でした。



2) きたえる体育の日無料開放イベントにて「スポーツキャラバンほっかいどう」が開催されました。

北海道女性アスリート医科学支援ネットワークが協力し、延べ約700名の子供とその保護者の体力測定・栄養相談・ストレスチェックなどが行われました。また女性アスリート支援を進めるためのアンケート(女性特有の問題)に年齢にかかわらず女性の方にご協力をお願いしました。当日はオリンピックの大澤ちほ氏、船山弓枝氏による子供のスポーツ体験会とトーク&ミニセミナーも行われました。コンソーシアムからアドミニストレーターの高橋もサポートスタッフとして参加いたしました。ご対応の専門委員の皆様、サポートスタッフの皆様お疲れ様でした。



3) スピードスケート競技の支援モデル事業開始に向け、コンソーシアム概要説明会を実施しました。

渡邊耕太専門委員とアドミニストレーターの戸田が帯広にてモデル事業の対象となる高校スケート部指導者に対してコンソーシアム概要説明会を行いました。高校スケート部指導者7名と現地サポートスタッフでもある帯広協会病院の理学療法士3名が参加し、有意義な意見交換もなされました。